

※日程が変更になりました。

【開講日】令和元年11月27日(水)

三鷹サテライト教室

文学  
三鷹  
312031

はるぴん  
室生犀星の哈爾濱  
— 白系ロシアの哀しみの人々を描く —

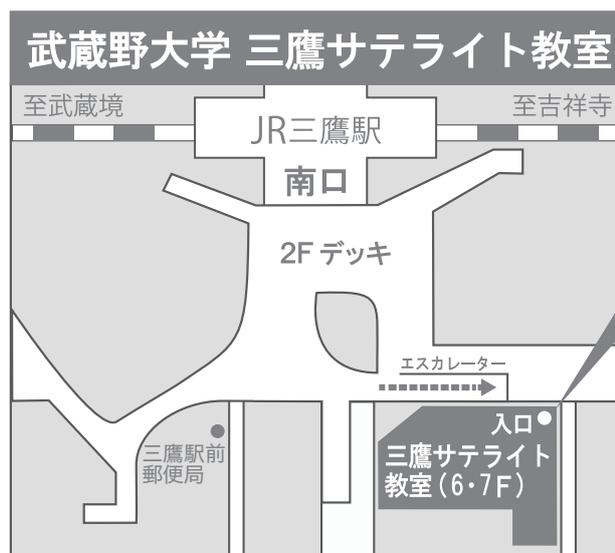
受講料 (振込額)	6,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	木曜日 水曜日		日程 <del>10月3・10・24日</del> 11月27・12月4・11日 ※12月11日は2コマです	
	時間	13:00～14:30 ※12月11日のみ(2コマ) ①13:00～14:30 ②14:40～16:10			
	回数	全4回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	元本学客員教授 星野 晃一 (ほしの こういち)				
	昭和11年東京に生まれる。早稲田大学第一文学部卒業。城西国際大学教授を経て、武蔵野大学客員教授(2010年3月まで)。著書に『室生犀星—幽遠・哀惜の世界』(明治書院)、『室生犀星何を盗み何をあがなはむ』(踏青社)、『室生犀星—創作メモに見るその晩年』(踏青社)、『犀星句中游泳』(紅書房)、編著『新生の詩』(愛媛新聞社)、『室生犀星文学年譜』『室生犀星書目集成』(以上、共編・明治書院)、『室生犀星未刊行作品集』全6巻(共編・三弥井書店)、『集英社国語辞典』(共編・集英社)、『多田不二来簡集』(共著 2015.8 紅書房)など。				
内容	昭和十二年頃のハルビンを中心として創作された犀星作品を取り上げ、そこに登場する白系ロシアの哀しみの人々を蘇らせます。取り上げる予定の作品は、『哈爾濱詩集』の中の詩、小説は「我が草の記」「ワシリイの死と二十人の少女達」「大陸の琴」など。これに室生朝子氏の随想を加えます。さらにロシア革命後のハルビンを中心とした、ある映画を鑑賞し、室生作品を見直す手がかかりしたいと思います。				
	①11月27日:主にドストエフスキイと犀星との関係をたどる ②12月4日:犀星作品に登場する「碧眼の女」に注目する ③12月11日:白系ロシア人、ワシリイと犀星の触れ合いに注目する ④12月11日:映画鑑賞を通じて、犀星文学を見直すきっかけとする				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World

MU 武蔵野大学  
Musashino University

お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211  
開室日:月～金曜日 9:30～18:00  
土曜日 9:30～15:30(祝日を除く)  
武蔵野大学 生涯学習事業課  
〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。